

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 4日(木)		
市町村名	梓川村	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- ・ 地域高規格道路について
 - ・ 地域高規格道路のイメージが分からない。

- ・ 計画概要について
 - ・ ルートの決定方法など、分からないことが沢山あるので参加した。
 - ・ 有料か。(県：基本的に無料)
 - ・ 盛土構造となるのか。
 - ・ 幅員はどの程度か。

- ・ 交通量について
 - ・ 説明資料の中のA、B、Cルートの交通量のうち、Aルートの交通量が多いのはなぜか。
 - ・ 道端の交通量調査か。
 - ・ 交通量の予測は当たっているのか。確率的には8割位は当たっているのか。豊科からつながっているため交通量が多いのか。松本からつなぐと交通量が増えるのか。
(県：予測は必ずしも当たっているとは言いきれない。)

- ・ ルートについて
 - ・ 調査区間が堀金～大町となっているが、Cルートは消えたのか。
 - ・ 調査区間がそのまま整備区間となることがあるのか。Cが消えてAかBになるのでは。
(県：A・B・Cは建設省(国土交通省)に説明するための比較検討を行ったものである。)
 - ・ B、Cルートになったら、梓川は他の町村からおいてかれて駄目になる。
 - ・ 今でも通過点ではないか。

- ・ 構造について
 - ・ 色々な本によると、谷間は霜の通り道だ。高架式が良い。

- ・ 整備費について
 - ・ 1kmに30～50億円とあるが、高架にするとどうか。
(県：平坦部の平均なので上がる。トンネル、橋梁は高くなる。地形により変わる。)

- ・ メリット・デメリットについて
 - ・ 説明資料の中のメリット・デメリットで「農業振興」とあるが、具体的なデータがあったら聞きたい。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 4日(木)		
市町村名	梓川村	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

・整備の要・不要について

a. 整備必要性はある

【遠隔地へのアクセスが便利に】

- ・長野道ができ仕事での長野出張が便利になった。この道路が出来れば便利になる。梓川村はJRや国道が無いので、このチャンスを逃がしたら今後は通らないだろう。環境に配慮すれば良いのではないか。

【環境や構造等に配慮するなら】

- ・道路の必要性があるということであれば、環境、構造等様々なことに配慮して造ることが大切だと思う。長野県内の東信・南信・北信は、木曾谷と松本～糸魚川地域を除いて高速道路がある。30～50年後を考えると様々な状況の変化の中で必要性を感じる。
- ・道路は必要だが、どこに、どのような道路を整備するかが問題だ。マスコミが言うように、環境に配慮すべきであろう。

【生活への影響等を十分検討した上で】

- ・現在の国・県・町村道を拡幅しただけで、21世紀の交通網として今後良いのか。生活道路のみでも困る。建設反対の人も高速道路を使っていると思うため、大きな道路が通ると困るというのはおかしい。また、道路が100%環境に悪いというのもおかしい。構造等に配慮すれば良いだろう。生活にどの位影響が出るか、色々と検討して改善してゆけば良いのではないか。がまんも必要だ。

【渋滞緩和が予想されるため】

- ・バイパス道路として整備された倭橋とそれに続く広域農道の沿道に大型店が出店したことから、土曜日の午後に大渋滞がおき、道路の横断もままならない状況が見られる。この道路が出来れば、通過交通がそちらに行くから広域農道が元に戻ると考えられる。

【整備を要する地区もあるため】

- ・大町以北は整備に賛成だと思われる。しかし、大町以北のみを整備したら、大町以南において渋滞が生じるだろう。南だけ要らないというのは身勝手のように感じる。将来的には必要な道路だと思うので、どのような道路にすべきかを考えるべきである。
- ・梓川には必要ない道路だと思う一方、大町以北には必要だと感じる。道路は1町村の必要性だけの利害だけで考えてはいけないと思う。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 4日(木)		
市町村名	梓川村	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

【生活道路としてなら】

- ・高規格道路は、バイパス的道路として(生活道路として)の役割を持たせたらどうか。
- ・環境問題を考えると、デメリットの問題も多いが、梓川は県道、村道が狭く、現道の改良にお金もかかっているのので、既存道路のバイパス的役割であれば必要だと思う。しかし、高規格道路はスピードが出るので、生活道路としては適さないと思う。ただ、将来を考えると必要だと思う。

b. 整備には反対

【リンゴへの霜害が予想されるため】

- ・上野原の方を通ると聞いているが、それには反対である。谷に空気が溜まると霜が発生するという記述を見たことがある。台風と霜はリンゴの天敵である。高架構造で風が通るのであればよいが、盛土構造の場合、西山と道路間の谷部に空気が溜まり、霜が発生するのではないか。道路整備の影響ではなく「天災」として済まされるのは困る。

【安曇野には高規格道路はいらない】

- ・安曇野には基本的には高規格道路は要らないと思っている。

【梓川にはメリットはない】

- ・この道路が計画されたときには、オリンピック道路は無かった。こんなに道路が何本も要るのかと思う。梓川は東西方向に長く、ルートは南北方向に通っていることから、梓川にとってのメリットはない。大町に行くにも困っていない。
- ・無料なので利用するかも知れないが、あまり走っていない高速道路も多い。梓川には自然を求めて来る人が多いので、一度失った自然を取り戻せなくなることが心配である。

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 4日(木)		
市町村名	梓川村	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

・ 中部縦貫道の早期整備に関する要望

- ・ この道路より先に中部縦貫道を造ってほしい。
- ・ 村の発展からすると、中部縦貫道を早く造ってほしい。

・ 議論の意義、在り方について

- ・ 資料に47年構想とある。構想を噂で聞いたくらいで、あまり知らないうちに、建設が決まってしまうことが多いが、この会はある意味良い雰囲気の中での会だと思う。
- ・ 地域高規格道路の必要性を考えることが今は大切であり、どのような道路にするか、場所はどこがいいかは次の問題だ。
- ・ 道路が必要という人は多いだろう。実際、自分達の所を通るかどうかなったとき、利害関係が生じてくる。必ずしも金で解決出来ないのでは。
- ・ 将来子供がこの道路を通るとき、自分が何らかの形で参加したと言えるようにしたい。

・ 霜害、防霜ファンについて

- ・ 防霜ファンを個人負担300万円で導入したが、年間約10数万円の維持費がかかる。
- ・ 上野原の高いところに水路があり、その付近の西側で霜の被害が多いと聞いている。防霜ファンの設置はこの要因が多いと聞いている。
- ・ 防霜ファンを人より先に付けた年に他の人より収入があった。みんなが付けたら意味が無くなる。どれだけメリットがあるかは分からない。水路を造った時は霜が多かったが、防霜ファンで解決した。やり方次第だと思う。

・ 今後の在り方について

- ・ 次回の意見交換会は1ヶ月くらい先にして、人を集めた方が良い。
- ・ 意見交換会では集まらない。自分達の所に道を作るから集まれと言う方が良い。そうでないと、みんな他人事だ。
- ・ 農業や商工、観光関係の人にも来てほしい。
- ・ 広報に載せてもこの人数しか集まらない。有線では無意味だろう。

・ 次回の開催予定

- ・ 2回目は11月8日(木)とし、有線で流すこととする。